②予算が結構余った。
多めに持って行き過ぎて両替すると損をするのでもう少し少なくてもよかった。

③両替の時はややこしくなるのでお土産代だけ別で両替するほうが良い。
クメール語で値切るとだいたい安くしてくれる。
シェムリアップよりプノンペンの方が安い。

全体の反省

良かった点	悪かった点
・予定が変わっても、臨機応変に対応することができた。 ・誰もスリにあったりしなかった。（危機管理がちゃんとできていた。） ・大きく体調を壊した人はいなかった。（体調管理がちゃんとできていた。） ・4種類の絵本を持っていったこと。 ・メンバーが少なかったので、ただ参加しただけ、というメンバーがいなかった。 ・みんな行く前にVISAはとっていた。 ・目的を果たすことが出来た。 ・各係りごとに役割を果たしていた。 ・ツアー中いろいろありその中でまとまりをもちだしたり、成長することができたと思う。 ・各自がそれぞれカンボジアにきたかった理由がしっかりとあった。 ・孤児院など子どもたちと直に触れえる機会が多かった。 ・通訳もいたので、子どもたちのいっていることが理解することができた。 ・絵本を読み聞かせすることができた。 ・現地に住む人の案内で市場などに行くことができて、よりカンボジアを感じることができた。	・予定が変わりすぎた。 ・クメール語をもっと勉強するべきだった。 ・絵本ができたのがぎりぎりだった。 ・NREC（クメール語訳をお願いした団体）と上手く連絡がとれなかった。 ・お金がどれくらいかかるか、事前にちゃんと把握しておくべきだった。 ・保険に入ったのがぎりぎりだった。 ・保護者へのサポートが一切なかった。 ・万が一のことも考えて、「のり・はさみ・修正液」などの製本セットは持っていくべきだった。 ・英語とクメール語を、少なくともあと2人には添削してもらうべきだった。 ・絵本について、翻訳について、もっと勉強するべきだった。 ・事前にカンボジアのこと、自分たちが行く場所についてもっと勉強するべきだった。 ・まとまりがなかった。 ・問題解決はみんなで協力すべきだがみんなで出来ていない部分もあった。 ・カンボジアに行く前の準備段階が足りていなかった。